

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	下水管渠施設維持管理事業			事業コード	0844
担当課等	所属名	上下水道局 下水道施設管理課	担当係名		
	課長名	上下水道局 下水道施設管理課	担当者名	佐々木寛司	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	健全な水環境・良好な水循環の創出	コード 6
	基本事業	汚水処理の充実	コード 1	関連予算 費目名	下水道事業会計 1款 1項 1目 施設維持管理事業 (300-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和28年度～)		
事務事業の概要	下水道の根幹施設である管渠が適正に機能するように巡視、点検、調査を行い、不具合等箇所の清掃、修繕、改築を実施するものである。					
根拠法令等	下水道法第3条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和28年に市中心部の浸水被害防除を目的として管渠整備したことが始まりであり、昭和40年の中川原処理場の供用開始により公共下水道の本格運用がなされ、順次整備が行われ現在に至っている。都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質保全に資するため下水管渠の適切な維持管理が必要となった。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
臭気対策、管渠閉管対策、不明水対策など。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
下水道法施工令が改正され、合流式下水道施設の改善のため雨水吐からの放流水対策を講じるが必要となり、計画的な管渠清楚の実施が必要となった。また、経年変化による管渠の損傷が著しいため、浸入水の止水等修繕工事や全面的な改築工事を行わなければならない。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	下水道の使用者及び管渠施設	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 不具合等管渠箇所数	単位	箇所
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 管渠施設維持管理計画により不具合等施設の点検、清掃、修繕、改築を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 管渠施設維持管理計画により不具合等施設の点検、清掃、修繕、改築を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 業務履行箇所数	単位	箇所
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	下水を適切に収集し、処理場まで円滑に流下させる管渠機能を確保し、安定的に使用できるようにする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 業務履行箇所の割合(業務履行箇所数/不具合管渠箇所数) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	衛生的な水環境が確保される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	不具合等管渠箇所数	箇所	13	13	13	13	13	13	26年度 13
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	業務履行箇所数	箇所	13	13	13	13	13	13	26年度 13
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	業務履行箇所の割合(業務履行箇所数/不具合管渠箇所数)	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	153,152	117,250	146,890	131,894	154,871	154,871	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	153,152	117,250	146,890	131,894	154,871	154,871	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	153,152	117,250	146,890	131,894	154,871	154,871	*****
	延べ業務時間数	時間	35,986	29,312	36,722	32,973	38,717	38,717	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	143,944	117,248	146,888	131,892	154,868	154,868	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	297,096	234,498	293,778	263,786	309,739	309,739	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 適正に管理機能が確保され、実施した成果は十分に上がっていることから衛生的で安全な生活環境が確保されている。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 事業を拡大することで、現状より早期により多くの不具合箇所を修繕、改築することが可能である。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: この事業を廃止、休止すれば下水を適切に収集し、処理場まで円滑に流化させる機能を維持させることが困難となり、使用者は安定的に下水道を使用できなくなる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 北上川上流流域下水道 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 下水道法により、各々の管理者が定められている。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 管理施設が年々増大し、これに伴い必然的に経費が増加する事業の特性上、経費削減の余地は特に見出せない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 整備事業に伴い管理施設が必然的に増加し、また、老朽化による補修・修繕等の業務が増加する。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益機会は、計画的に基づき定められた区域内で行われていることから適正である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 妥当な使用料である。費用の原資は、条例で定めている使用料である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること</p> <p>代替案その1 日常の巡視・点検・調査を行って現況を把握し、計画的に清掃、浚渫、修繕を実施することで管渠機能の確保やライフサイクルコストを削減し管渠の延命を図ることが必要となる。</p> <p>代替案その2 分流区域の不明水は管渠能力に負担を及ぼすだけでなく、流域下水道負担金にも跳ね返ることから、不明水の調査及び対策を早急に実施することが必要となる。</p> <p>代替案その3 油脂類等の悪質な汚水排水者や管渠付近地を掘削する工事施工者に対する指導・監督を強化することで、管渠の閉管、損傷を防止することが必要となる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>管渠延長が増大していく中で年々老朽化が進み不具合箇所が増加傾向にあることから、計画的な維持、修繕、改築が必要となり維持管理費用が増大することになるが、日常の巡視、点検を基本に不明水などの必要な調査を計画的に行い、管渠の損傷具合を早期に診断して維持、修繕、改築の対策を講じるが必要となる。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>整備区域の拡大に伴い管きよ施設が増加する中、経年劣化による不具合箇所は今後、大幅な増加が見込まれる。施設調査、清掃、補修及び改修等を行い、施設の長寿命化や機能を保持するなど管理水準を堅持する必要がある。また、不明水は管きよの流下能力超過や流域下水道負担金の増加に繋がることから、財源の確保を図り重点的な取り組みが必要である。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>維持管理計画に基づく維持管理を実施し、管理水準を堅持すると共に不明水対策も併せて実施し、トータルコストの削減を図る。</p>													